

### 多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 大肥川筋災害復旧助成事業における川づくりについて		
水系 / 河川名 : 筑後川水系 / 大肥川・宝珠山川	河川分類 :	中小河川
河川の流域面積 : 38	整備計画流量 :	400m <sup>3</sup> /s
セグメント :	M	
事業 :	災害復旧	
事業開始年度 :	平成29年度	
目標設定 :	定性的	
段階 :	D(実施・施工時)	
課題・目的(主な) : 流下能力の確保、貴重種・特定動植物の保全、縦断的連続性の保全・再生・創出		
工法(主な) : 築堤、引堤、掘削(河床)、護岸整備、河道法線修正、魚道、落差工、帯工等の整備		
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、多自然川づくりのアドバイザー制度の活用		

#### 背景・課題、目標設定

##### <背景>

平成29年7月九州北部豪雨によって被災した大肥川・宝珠山川において、「九州北部緊急治水対策プロジェクト<sup>※1</sup>」の一つとして事業を実施することとなった。<sup>(※1 九州北部豪雨で甚大な被害を受けた河川において、再度災害の防止・軽減を目的に、概ね5年間で緊急的・集中的に治水機能を強化する改良復旧工事等を実施)</sup>



##### <課題>

限られた時間の中で、河川の特徴を活かした改良復旧ができるか。

##### <目標設定>

「景観編」と「いきもの編」でそれぞれの目標を設定した。

#### 取り組み内容・対策例 (1/2)

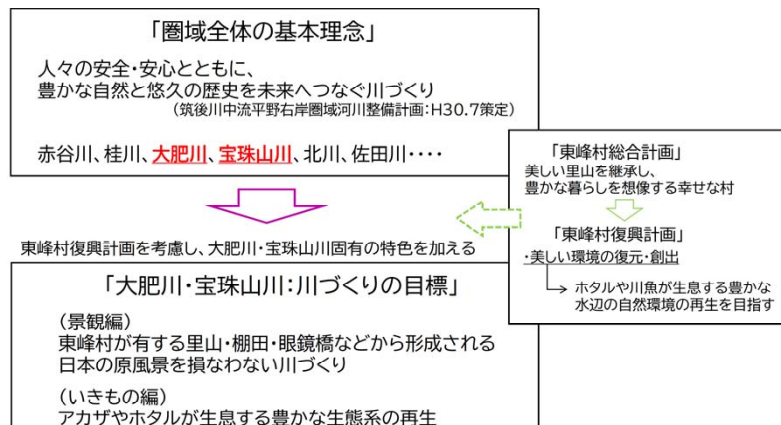
##### 1. 明確な目標設定。

###### ・景観編

護岸のタイプ選定は、周辺環境や現況の整備状況を勘案し、棚田や石積護岸が多く残る箇所は石積ゾーンと、それ以外をブロック積ゾーンにゾーニングした。また、里山的な景観等を損なわないよう河川景観の保全に努める。

###### ・いきもの編

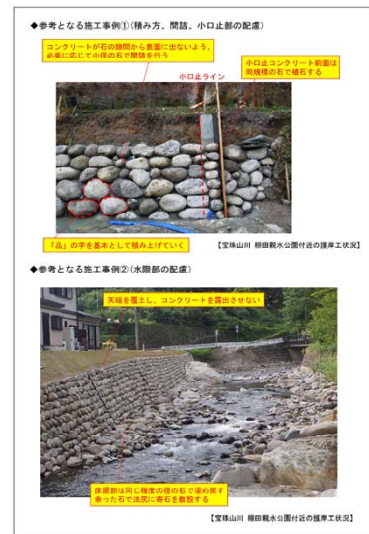
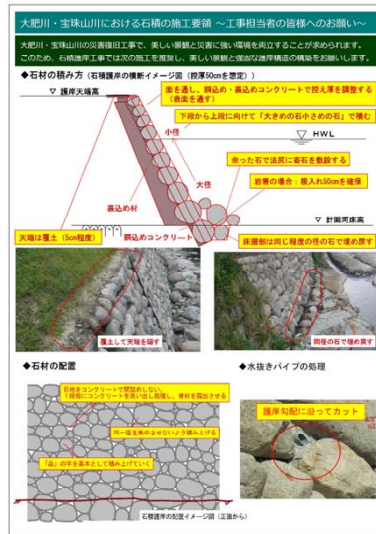
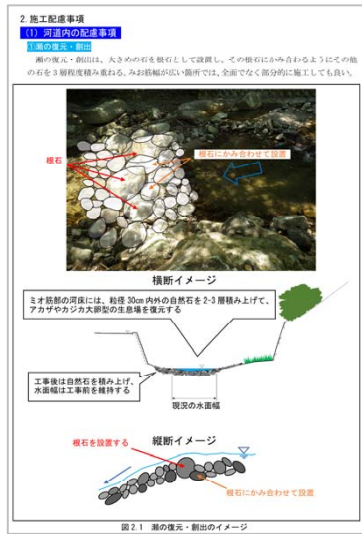
アカザについては、福岡県レッドデータブックで絶滅危惧2類となっている魚で、県内の筑後川水系では、東峰村のみにしか生息が確認されておらず、生息箇所、個体数が少ないため、大肥川のシンボリックな種である。また、ホタルについては、東峰村のイメージキャラクターにも採用されており、毎年ホタル祭りを開催する等、住民の思い入れが強く、村を象徴する生物のため、いきもの編の代表種とし、配慮することとした。



取り組み内容・対策例(2/2)

2. 完成イメージを施工者と共有するため、施工要領を作成。

- ・施工する方が分かりやすいように写真に加え、イメージ図を作成。また、ポイントとなる所は、コメントで補足。
- ・護岸については、出来栄等に大きく差が出る石積をメインとし、現場の良い事例を参考に資料を作成。



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針  
 <アピールポイント>

限られた事業期間の中で、明確な目標を設定し、やや単調になりがちな災害復旧工事でも、河川の特徴を活かした工事を実施することができた。  
 工事が完了した区間において、魚類の中間調査を行ったところ、目標としていたアカザやホタルが確認され、良好な環境が復元されつつあることを確認できた。



備考